

MLC330 中国文化特殊講義

3年 3,4クォーター

担当教員 永井 崇弘

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

曜日・時限 木曜日・3時限

授業概要

この授業では伝統中国と西洋の言語・文化が接触する近代に焦点をあて、文化交渉学の観点からキリスト教の中国への受容について学びます。特に19世紀の西洋人プロテスタント宣教師の来華により誕生した漢訳聖書と英華字典を中心に、その成立過程や背景、訳語そのもの及びその変遷を考察しつつ、新しい概念や思想がどのように中国へ受容されていったのかを理解します。また、この考察に必要なキリスト教や聖書、翻訳学、辞書の歴史に関する知識の習得も行います。さらには、西洋人によって中国語化されたキリスト教の概念や術語が日本語にどのような影響を与えたかについても学びます。

到達目標

1. 西洋文化を代表とするキリスト教とその聖典についての知識を修得します。
2. 伝統中国と西洋文明の接触、中国の近代について理解を深めます。
3. 西洋人による聖書の翻訳や英華字典の編纂についての知識を修得します。
4. 漢訳聖書の日本への影響について考察します。

先修科目

中国語学概論

教科書・参考資料等

教科書

プリントを配布します。

参考資料

賈立言, 馮雪冰 1934. 『漢文聖經翻譯本小史』。広学会

宮崎市定 1993. 「東亜の近代化」. 『宮崎市定全集 16 近代』。東京: 岩波書店

Jost Oliver Zetzsche 1999. The Bible in China, Monumenta Serica, Sankt Augustin

池田誠, 安井三吉, 副島昭一, 西村成雄 2009. 『図説中国近現代史』。法律文化社

劉云 2015. 『語言的社会史』。上海世紀出版集団

授業の方法

この授業はプロジェクターを用いた講義形式にて行いますが、随時予習箇所について受講者に質問を行います。

成績評価

平常点と期末試験を総合して評価します。なお、平常点には授業態度、予習状況などが含まれます。

成績

平常点 (40%) と期末試験 (60%) を総合して評価します。

授業スケジュール

第1回: 授業概要, キリスト教について

授業の進め方や評価方法などのオリエンテーションを行う。残余の時間で西洋文明の代表であるキリスト教についての概説を行う。

第2回: 聖書とは

キリスト教の聖典である「聖書」について、その成立も含めて考察を行う。

第3回：近代以前の欧州人の東航とキリスト教

中国の近代以前における欧州人の東航とキリスト教の東漸について考察する。

第4回：中国の近代（産業革命の到来）とプロテスタントの東漸

中国の近代の始まりとプロテスタントの東漸について考察する。

第5回：西洋人と中国語

宣教師を中心とする西洋人による英華字典について理解を行うとともに、英華字典の訳語から西洋人の中国語に対する認識の変遷について考察を行う。

第6回：漢訳聖書の翻訳史1

プロテスタントによって翻訳された漢訳聖書の考察を行う。ここでは初期のマーシュマン訳本およびモリソン訳本について理解を深める。

第7回：漢訳聖書の翻訳史2

プロテスタントによって翻訳された漢訳聖書の考察を行う。ここでは文言訳の代表となる代表訳本とブリッジマン・カルバートソン訳本について考察を行い、理解を深める。

第8回：漢訳聖書の翻訳史3

プロテスタントによって翻訳された漢訳聖書の考察を行う。ここでは初期の官話訳であるメドハーストとストロナックによる南京官話訳本と官話和合訳本が出現するまで長きに渡り流布した北京委員会北京官話訳本について考察を行い、理解を深める。

第9回：漢訳聖書の翻訳史4

プロテスタントによって翻訳された漢訳聖書の考察を行う。ここでは平易な文言によって訳出された浅文理訳本（グリフィス訳本、シェレシエウスキー訳本）について考察を行い、理解を深める。

第10回：漢訳聖書の翻訳史5

プロテスタントによって翻訳された漢訳聖書の考察を行う。ここでは現在でも流布し続けている官話和合訳本について、その成立を含め考察を行い、理解を深める。

第11回：漢訳聖書の文書表題の変遷

プロテスタントによる漢訳聖書の文書表題について通時的にその変遷を含めて考察する。

第12回：漢訳聖書における「神」と「聖霊」、「バプテスマ」、「十字架」の訳語の変遷

プロテスタントによる漢訳聖書に見られる「神」と「聖霊」、「バプテスマ」、「十字架」の訳語の変遷を初期のマーシュマン訳、モリソン訳から官話和合訳にわたりその変遷を考察する。

第13回：漢訳『天路歷程』の挿絵に見る西洋文化の受容

バンヤンの『Pilgrim's Progress』は1853年に英国宣教師のバーンズによって『天路歷程』に漢訳され、中国において諸版が流布した。ここでは異なる時期に出された2種の版本の挿絵の考察をとおして、中国の西洋文化受容について考察を行い、理解を深める。

第14回：宣教師と英華字典

プロテスタントの宣教師はキリスト教の聖典である聖書の漢訳とともに、英華字典を編纂している。ここではモリソンによる英華字典とメドハーストによる英華字典を考察する。

第15回：漢訳聖書の日本への影響

漢訳聖書が日本にもたらした影響について、その経緯を考察する。また「神」と「聖霊」という用語について、和訳聖書からその後の変遷を考察する。また中国宣教に従事した宣教師が日本にもたらした影響（金属活字等）についても考察を行う。

第16回：期末試験

筆記試験，制限時間 80 分

事前・事後学習

事前学習として資料にある用語や担当者により示されたトピックについて、事前に下調べしておくとともに、疑問点等を整理しておいてください。事後学習として復習を行い修得した知識を定着させるとともに、予習における疑問点について再度確認を行って下さい。